

貸借対照表
2023年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,296,899	1,773,968	522,931
流動資産合計	2,296,899	1,773,968	522,931
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	2,300,000	2,300,000	0
基本財産合計	2,300,000	2,300,000	0
(2) 特定資産			
キャリアアップ支援制度積立資	2,050,000	2,320,000	△ 270,000
特定資産合計	2,050,000	2,320,000	△ 270,000
(3) その他固定資産			
什器備品	539,000	0	539,000
その他固定資産合計	539,000	0	539,000
固定資産合計	4,889,000	4,620,000	269,000
資産合計	7,185,899	6,393,968	791,931
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
一般正味財産	7,185,899	6,393,968	791,931
(うち基本財産への充当額)	(2,300,000)	(2,300,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(2,050,000)	(2,320,000)	(△270,000)
正味財産の部合計	7,185,899	6,393,968	791,931
負債及び正味財産合計	7,185,899	6,393,968	791,931

正味財産増減計算書
2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
(1) 經常収益			
受取入会金	10,000	11,000	△ 1,000
受取会費			
正会員受取会費	800,000	810,000	△ 10,000
賛助会員受取会費	356,535	361,920	△ 5,385
事業収益			
研修事業収入	198,000	342,422	△ 144,422
失語症者向け意思疎通支援者 養成事業受託費	1,713,684	600,000	1,113,684
受取補助金等			
地域活動支援補助金	50,000	50,000	0
受取寄付金			
受取寄付金	600,500	0	600,500
雑収益			
受取利息	297	306	△ 9
經常収益計	3,729,016	2,175,648	1,553,368
(2) 經常費用			
事業費			
福利厚生費	9,789	0	9,789
会議費	62,381	47,692	14,689
旅費交通費	145,526	68,711	76,815
研修会参加費	0	10,000	△ 10,000
通信運搬費	201,144	260,443	△ 59,299
消耗品費	59,793	224,629	△ 164,836
印刷製本費	411,514	349,775	61,739
諸謝金	1,182,230	1,047,955	134,275
支払助成金	285,780	187,000	98,780
雑費	550	432	118
保険料	22,990	21,900	1,090
会場費	155,050	88,716	66,334
支払手数料	16,107	10,781	5,326
備品費	151,580	174,306	△ 22,726
慶弔費	10,000	0	10,000
管理費			
会議費	44,122	38,750	5,372
旅費交通費	19,430	18,400	1,030
通信運搬費	41,122	33,278	7,844
消耗品費	12,537	17,874	△ 5,337
支払手数料	102,960	119,050	△ 16,090
会場費	2,480	29,570	△ 27,090
經常費用計	2,937,085	2,749,262	187,823
評価損益等調整前当期經常増減額	791,931	△ 573,614	1,365,545
当期經常増減額	791,931	△ 573,614	1,365,545
当期一般正味財産増減額	791,931	△ 573,614	1,365,545
一般正味財産期首残高	6,393,968	6,967,582	△ 573,614
一般正味財産期末残高	7,185,899	6,393,968	791,931
II 正味財産期末残高	7,185,899	6,393,968	791,931

財務諸表に関する注記

1. 継続組織の前提に関する注記
 継続組織の前提に疑義を抱かせる事象または状況はない。

2. 重要な会計方針

財務諸表は、公益法人会計基準(平成20年4月11日 令和2年5月15日改正 内閣府公益認定等委員会)に準拠して作成している。

- (1)有価証券の評価基準及び評価方法
 該当なし
- (2)棚卸資産の評価基準及び評価方法
 該当なし
- (3)固定資産の減価償却の方法
 定額法によっている
- (4)引当金の計上基準
 該当なし
- (5)消費税等の会計処理
 税込方式

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定額貯金	0	0	0	0
定期預金	2,300,000	0	0	2,300,000
小計	2,300,000	0	0	2,300,000
特定資産				
キャリアアップ支援制度積立資金	2,320,000	0	270,000	2,050,000
小計	2,320,000	0	270,000	2,050,000
合計	4,620,000	0	270,000	4,350,000

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定額貯金	0	0	0	0
定期預金	2,300,000	0	2,300,000	0
小計	2,300,000	0	2,300,000	0
特定資産				
キャリアアップ支援制度積立資金	2,050,000	0	2,050,000	0
小計	2,050,000	0	2,050,000	0
合計	4,350,000	0	4,350,000	0

5. 担保に供している資産
 なし

6. 固定資産の取得価格減価、償却累計額及び当期末残高
 固定資産の取得価格減価、償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	539,000	0	539,000
合計	539,000	0	539,000

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
 なし

8. 保証債務等の偶発債務
 なし

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
 なし

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
地域活動支援補助金	日本言語聴覚士協会	0	50,000	50,000	0	一般正味財産
合計		0	50,000	50,000	0	

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
 該当なし

12. 関連当事者との取引の内容
 該当なし

13. 重要な後発事象
 該当なし

公益社団法人 石川県言語聴覚士会

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表の注記に記載したため、省略する。
2. 引当金の明細
該当なし。

財産目録
2023年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(資産の部)			
流動資産			
現金	手元保管		0
預金	普通預金 北國銀行野々市支店	運転資金として	2,296,899
流動資産合計			2,296,899
固定資産			
基本財産	定期預金 北國銀行野々市支店	公益目的保有財産として 管理されている預金	2,300,000
特定資産	定期預金 北國銀行野々市支店	特定費用準備資金として 管理されている預金	2,050,000
キャリアアップ支援制度積立資産			
その他固定資産			
什器備品	オーディオメーター	公益目的保有財産として 管理されている備品	539,000
固定資産合計			4,889,000
資産合計			7,185,899
(負債の部)			
流動負債			0
流動負債合計			0
固定負債			0
固定負債合計			0
負債合計			0
正味財産			7,185,899

正味財産増減計算書内訳表
2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	会員間事業会計	法人会計	内部取引 消去	合計	備考
	公1	他1				
I 一般正味財産増減の部						
經常増減の部						
(1)經常収益						
受取入会金	5,000	0	5,000		10,000	新入会員1,000円×10名
受取会費						
正会員受取会費	400,000	0	400,000		800,000	正会員5,000円×160名
賛助会員受取会費	178,268	0	178,267		356,535	賛助団体23団体(A会員50,000円×2団体、B会員30,000円×2団体、C会員10,000円×19団体)、賛助個人会費5,000円×3名 振込手数料含む
事業収益						
研修事業収入	198,000	0	0		198,000	訪問リハ実務者研修会、生涯学習専門講座等
失語症者向け意思疎通支援者養成事業受託費	1,713,684	0	0		1,713,684	R3後期、R4年度失語症者向け意思疎通支援者養成事業受託費、
受取補助金等						
地域活動支援補助金	50,000	0	0		50,000	日本言語聴覚士協会
受取寄付金						
受取寄付金	600,500	0	0		600,500	石川県脳卒中リハビリテーション協会、会員より
雑収益						
受取利息	0	0	297		297	北國銀行
經常収益計	3,145,452	0	583,564		3,729,016	
(2)經常費用						
事業費						
福利厚生費	0	9,789	0		9,789	総会親睦会
会議費	62,381	0	0		62,381	各部会議費
旅費交通費	145,526	0	0		145,526	各部会議・講師旅費交通費
通信運搬費	201,144	0	0		201,144	年報、ニュースレター発送等
消耗品費	59,793	0	0		59,793	各種研修会等
印刷製本費	411,514	0	0		411,514	各種研修会資料、ニュースレター等
諸謝金	1,182,230	0	0		1,182,230	失語症者向け意思疎通支援者養成事業、生涯学習基礎講座、生涯学習専門講座等
支払助成金	285,780	0	0		285,780	キャリアアップ支援事業、NPO法人和音賛助団体助成金、石川JRAT活動支援金等
雑費	550	0	0		550	
保険料	22,990	0	0		22,990	失語症者向け意思疎通支援者養成事業
会場費	155,050	0	0		155,050	失語症者向け意思疎通支援者養成事業
支払手数料	16,107	0	0		16,107	振込手数料
備品費	151,580	0	0		151,580	パソコン
慶弔費	10,000	0	0		10,000	他団体祝儀
管理費						
会議費	0	0	44,122		44,122	総務・財務部会議、理事会費
旅費交通費	0	0	19,430		19,430	総務・財務部会議、理事会費
通信運搬費	0	0	41,122		41,122	総務・財務部、理事会等
消耗品費	0	0	12,537		12,537	総務・財務部等
支払手数料	0	0	102,960		102,960	振込手数料、公認会計士謝礼
会場費	0	0	2,480		2,480	理事会会場費
經常費用計	2,704,645	9,789	222,651		2,937,085	特定費用準備資金より27万円使用
評価損益等調整前当期經常増減額	440,807	△ 9,789	360,913		791,931	
当期經常増減額	440,807	△ 9,789	360,913		791,931	
当期一般正味財産増減額	440,807	△ 9,789	360,913		791,931	
一般正味財産期首残高	4,605,649	△ 194,314	1,982,633		6,393,968	
一般正味財産期末残高	5,046,456	△ 204,103	2,343,546		7,185,899	
II 正味財産期末残高	5,046,456	△ 204,103	2,343,546		7,185,899	

監査報告書

公益社団法人 石川県言語聴覚士会
代表理事 徳田 紀子 殿

私たちは、当法人の令和4年度 事業年度(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果について、以下のとおり報告します。

1 監査方法の概要

私たちは、理事会その他重要な会議に出席し、会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち貸借対照表、正味財産増減計算書、個別注記表、附属明細書、財産目録を閲覧し、当法人の理事等から、その職務の執行状況等について定期的に報告を受け随時説明を求めました。

2 監査結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款に従い、収支及び財産の状況等を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

3 追記情報

以上

令和5年4月24日

監事

木下 浩美



監事

中村 準

